

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成 31 年 3 月 22 日
作成担当部署 産業振興部商工観光課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社神楽門前湯治村
代表者名 溝本 郁夫
所在地 広島県安芸高田市美土里町本郷 4627
設立年月日 平成 8 年 11 月 1 日
資本金 40,000 千円【安芸高田市の出資額（出資割合） 20,000 千円（50%）】
業務内容 神楽門前湯治村（温浴・宿泊・飲食・物販・神楽上演などの複合施設）の管理運営、道の駅の管理運営

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当該法人は、町おこし事業の一つとして安芸高田市（旧美土里町）が整備した複合交流施設「神楽門前湯治村」の管理運営を通じて、まちづくりの活性化や地域経済の発展、伝統文化の継承等を目的として設立され、当該施設の指定管理者として施設の管理運営を担っている。

経営状況については、直近の 10 期のうち 8 期は営業損失を計上しており、不安定な経営状況が続いている。とりわけ、平成 28 年度から債務超過に陥っており、事業の継続性に支障が懸念される状況にある。

このような中、本市としては様々な関与を続けている。とりわけ、当該法人の筆頭株主として平成 30 年 9 月に当該法人の経営診断・経営改善計画立案支援業務を執行し、将来に亘り当該施設の持続可能な管理運営を実現するため、当該法人の現状把握をはじめ、経営診断を通して経営不振に至った原因や課題等を整理し、今後の安定的な経営を確保するための支援業務に着手している。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

神楽門前湯治村は、温浴、宿泊、飲食、物販、神楽上演などの複合施設で構成され、地域活性化や地域イメージの向上等の「まちづくり効果」、特産品の開発や観光交流の促進等といった「経済効果」、地域雇用と所得の場を生み出すといった「定住効果」、さらには地域文化の保存継承や住民の健康福祉の向上、高齢者のいきがづくり、コミュニティの活性化等の「公益的效果」等をもたらしており、当該法人が果たしてきた役割は十分評価されるとともに、当該施設で展開する事業そのものの意義は十分であると判断している。

今後、当該法人の経営健全化に向け、「採算性」の観点が重要となる。「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」（平成 26 年 8 月 5 日）によると、いわゆる債務超過の経営状況にある以上は、原則として「採算性」が無いものとして判断されることになるが、今後、債務調整を実施（再生）した上で、当該法人が引き続き積極的な経営改革を実施、あるいは、経営体制の変更や大幅な経営改革を行うことを前提に、引き続き当該法人による事業再生を実施することで経営健全化に取り組む方針である。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

経営健全化のための具体的な対応として、平成30年度においては、当該法人の現状把握をはじめ、経営診断、これまで実施してきた経営改善計画の検証、経営改善の検討を行うとともに、平成31年度においては、マーケティング調査や市場ニーズの把握、施設活用によるビジネスモデルの立案、商品サービス計画、収支計画、投資計画などを踏まえた経営改善アクションプログラムの策定支援を行い、平成32年以降は経営管理の伴走型支援やPDCAサイクルによるマネジメント支援を行いながら、経営健全化に向けた取り組みを実施することとしている。

また、当該法人としても、株主構成や役員構成も経営環境の変化とともに見直すべき時期にあり、経営体制の再編の検討を行うものとする。

(参考)

6 法人の財務状況

| 貸借対照表から | 項目 | 金額（千円） | | |
|---------|--------------------|---------|---------|---------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| | 資産総額 | 134,437 | 113,715 | 122,920 |
| | （うち現預金） | 32,505 | 18,343 | 18,713 |
| | （うち売上債権） | 4,989 | 4,302 | 7,012 |
| | （うち棚卸資産） | 18,377 | 18,663 | 17,795 |
| | 負債総額 | 127,049 | 118,965 | 144,397 |
| | （うち当該地方公共団体からの借入金） | 0 | 0 | 0 |
| | 純資産額 | 7,387 | △5,250 | △21,477 |

| 損益計算書から | 項目 | 金額（千円） | | |
|---------|-------|---------|---------|---------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| | 経常収益 | 582,539 | 574,895 | 570,513 |
| | 経常費用 | 262,669 | 261,665 | 254,155 |
| | 経常損益 | 319,870 | 313,230 | 316,358 |
| | 経常外損益 | 9,653 | 12,941 | 13,083 |
| | 当期純利益 | △18,503 | △12,637 | △16,227 |
| | | | | |
| | | | | |